

事業番号	10 02 15	事業改善シート（28年度実施事業分）		<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	全国一の森林セラピー県推進事業費			担当課	部局	林務部	
総合5か年計画	プロジェクト	2-2-3 農山村産業クラスター形成プロジェクト		課・局・室	信州の木活用課		
	施策の総合的展開	1-4 森林を活かす力強い林業・木材産業づくり		E-mail	ringvo@pref.nagano.lg.jp		
		4 様々な主体の関わりによる森林の適正管理と多様な利活用の推進		実施期間	H27 ～ H29		
人口定着・確かな暮らし実現総合戦略	信州創生の基本方針	3-2 活力と循環の信州経済の創出					
	施策展開	3-(1) 経済構造の転換 ア 県内産業の競争力強化 カ 観光の振興					

1 事業の概要

目指す姿	森林セラピー基地等の積極的な活用をすすめるため、平成27年に発足した長野県森林セラピー推進協議会（有識者（国研究機関及び大学等）、県内森林セラピー基地、健康福祉部、産業労働部、観光部及び林務部）による連携により、森林セラピー基地の資質の向上を図り、名実ともに全国一の「森林セラピー県ながの」を目指す。		
現状（予算編成時）	森林浴による「癒し」効果が科学的に認められた森林セラピー基地等が全国60カ所設定されているうち、10カ所を有する本県は、全国一の森林セラピー県である。 しかし、平成18年度に認定制度が開始して9年が経過したが、森林セラピーを目的とした利用者はどの基地でも1%程度と少なく、名実ともに全国一の森林セラピー県となるためには、受入先である森林内でのガイドの質的向上を積極的に図るとともに、部局連携による事業の推進を図る必要がある。		

県が関与する理由	県関与の必要性あり	【左記の説明、根拠法令等】 名実ともに全国一の森林セラピー県を推進するために必要な施策を講じる
	県民との協働による実施： 実施中	

成果目標・事業内容	① 成果目標（H28）				
	森林セラピー基地の誘客数（ガイド利用者）をH29までに事業実施前（H25）の120%とする。 目標：H25 5,000人 → H28目標 5,500人（110%）				
	② 事業内容 （単位：千円）				
	項目	実施方法	H28事業実績		
			H28（当初）	H28（決算）	H29（当初）
	長野県森林セラピー推進協議会	直接	・森林セラピー推進協議会を2回開催 ・部局間連携による森林セラピープログラムの開発及び商品化への支援	649	409
森林セラピー質的向上事業	委託	・森林セラピーガイド等の資質向上のためのフォローアップ研修会を2回開催	711	692	711
森林セラピー企業参画促進事業	直接	・企業向けの森林セラピー活用講座を銀座NAGANOで2回開催	84	112	84
	直接	・企業向けの森林セラピー体験会を2回開催	634	487	
森林セラピー地域利用促進事業	直接	H29 新規（地域の森林セラピー利用促進のための、シニア大学等での講演）			248
		合計	2,078	1,700	1,932

事業コスト	区分（単位：千円）				成果目標の達成状況											
	予算額	前年度繰越	2,081			項目	H26末	H27末	H28			H29目標				
		当初予算		2,078	1,932				目標	成果	達成状況					
		補正予算							森林セラピー基地の誘客数（人）	5000	5405		5500	6084	達成	6000
		合計（A）	2,081	2,078	1,932											
	Aの財源	一般財源		2,078	1,932											
		県債														
		国庫支出金	2,081													
		その他	0	0	0											
	決算額（B）		1,735	1,700												
概算人件費	職員数（人）	2.00	2.00	2.00												
	概算人件費（C）	16,552	15,828	15,828												
概算事業費（B（A）+C）		18,633	17,528	17,760												

目標に対する成果の状況	・目標5,500人に対し6,084人の誘客数（ガイド利用者）が図られた。
-------------	--------------------------------------

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input checked="" type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施 当該事業は信州ACE（エース）プロジェクト及び長野県次世代ヘルスケア産業推進協議会など部局間連携しながら推進する。ストレスチェック制度の導入等を踏まえ、企業がより活用を進めるように取り組むとともに、H29からは地域のシニア大学等による利用啓発を推進する。
--------------------	--